

みんなのデジタルリポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.035; あとがき

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2009-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/1505

あとがき

大森 康宏

平成9年に共同研究会を終了して4年以上も遅れて、今回解説付きCD-ROM報告書を出版することになった。これもひとえに編者の配慮のいたらぬことと深く反省している。

思えばCD-ROM製作に取り組んだのが、共同研究会が終了した翌年、平成10年であった。その年、映像と文字によるマルチメディアな表現方法によるシナリオ作りを各研究者に要請した。この段階で表現項目と実際のまとめが合致せず時間がとられた。CD-ROMの製作に取りかかると、映像内容の画像や動画の指示、文章の意味と映像の食い違いなど多くの問題が出た。さらに経費の不足から製作の進行をしばしば中断せざるをえなくなった。

解説文に関しては、各研究者の自由なスタイルにしたことから、映像と比較すると必ずしも明確で判りやすいとは思えない点が多いが、各自の意見を尊重した。マルチメディアを用いた表現は、本来、各自のもつ複雑な表現方式を尊重すべきであり、解説文章の形式も自由にすべきであろう。さもなくば常に形式に左右された表現になってしまう。これを打破しなければ、文字表現によって権威を維持する者を乗り越え、かつ映像と文字を同等に扱うようになれないであろう。

今回長期にわたる製作過程で、多くの人に迷惑をかけお世話になった。特にCD-ROM製作にあたっては、文句の多い研究者たちの意向を汲んでくれた東京経済大学の学生であった中山雄介君に何度も大阪に来てもらった。解説文に関しては、何度も訂正に取り組んでくれた西名さん、梶さんにお世話になった。また解説文の編集について、無理してこちらの意向を考慮してくれた民博の出版委員会の皆様に感謝したい。そしてCD版を最新のOSで視聴できるようにプログラム改良してくださった小寺様にも深く感謝したい。

これら多くの人々の援助がなければ、経費なしに近い状態でCD-ROMを完成させることは不可能であったろう。内容的にはCD-ROMの映像を検索しても、「仕事中」のところが随所に見られるがこれも試作の過程と考えてご容赦お願いしたい。

なお各研究者の肩書きは平成14年現在のものとした。